

2025 年 8 月 12 日

選手・関係者各位

全日本学生テニス連盟
理事長 藤岡源

全日本学生テニス選手権大会におけるヒートルールの適用について

全日本学生テニス選手権大会では、近年問題視されております、暑熱下でのプレーの危険性への対応策として以下の通りの対応をさせていただきます。

1. ヒートルールの採用

全日本学生テニス選手権大会では、JTA 公式トーナメント競技関連規則に基づき、全試合でヒートルールを採用する。コート上に設置する黒球温度計において、WBGT30.1°Cを記録した場合、ファイナルセット前に 10 分間の休憩(セットブレイクを含む)が認められる。この 10 分間の休憩ではトイレ、着替えは出来るが、コーチングを受けることは出来ない。又、試合進行中に気温が下がった場合でも、一度ヒートルールが決定された試合には、試合途中に中断がない限り、休憩は解除されない。

また、WBGT32.2°C以上を記録した場合は、屋外コートで行われている試合の中断および開始の遅延を検討する。その場合、WBGT が 32.2°Cを下回るまでは屋根付きコートのみで試合を進行する。気温の測定は、試合開始 30 分前と試合開始 1 時間後から 1 時間ごとに測るものとする。

2. JTA 公式トーナメント競技規則「25.メディカルルール」の「8.身体的プレーの限界」の適用

身体的に試合を開始、続行できる状態でないとトレーナーまたはドクターが判断した場合は(プレーを開始あるいは続行することが選手に悪影響を及ぼすと判断した場合)、レフェリーが医学的アドバイスやあらゆる状況を考慮し、選手を棄権、あるいはリタイアさせる最終判断を行う。

【具体的な暑熱対策】・・・別紙参照

以上

具体的な暑熱対策について

- 出場選手
自己責任で飲食、睡眠、試合準備等を管理して下さい
 - 冷却用アイス、ドリンクの準備
 - 服装、帽子、日焼け止め、日傘など日除けの準備
 - 緊急連絡先、連絡方法を確認して控えておく
- 使用コート
 - 屋外コート 8 面、屋内コート 8 面の計 16 面
 - 単複同日出場選手が 2 試合連続で屋外コートにならないように OP 作成
 - ベスト 16 以上は全試合屋内コートを使用
- 試合形式
複：全試合ファイナル 10 ポイントタイブレイク ノーアド
単：ザベストオブ 3 タイブレイクセット(予選はファイナル 10 ポイントタイブレイク)
※試合形式を変更する可能性もございます
- 会場準備
 - クラブハウスにドクター及びトレーナーが常駐
 - 隣接する四日市ドーム内に大会関係者用の休憩室（冷房あり）を準備
 - 場内にミストシャワーの設置（6 台予定）
 - 会場内テントを準備し、その中にアイシング用クーラーボックスを準備
- その他
 - 試合時間の短縮のために以下の JTA ルールを厳守してください。
 - * 試合前のウォームアップ：5 分
 - * ポイント間：25 秒
 - * エンドチェンジ：90 秒